

保険者基本情報及び実施率

【基本情報】		令和6年4月時点							
保険者名	東京都市町村職員共済組合								
保険者種別	共済組合								
被保険者・被扶養者の人数／平均年齢	①-1 被保険者数 (全体)	45,130	人	①-2 被保険者数 (40～74歳)	29,964	人	①-3 被保険者 平均年齢 (全体)	46.4	歳
	②-1 被扶養者数 (全体)	22,614	人	②-2 被扶養者数 (40～74歳)	5,182	人	②-3 被扶養者 平均年齢 (全体)	22.5	歳
事業所数／自治体数	70								
特徴 (業種・業態・職種)	【業種・業態】					【職種】			
	地方公務員等（地方公共団体、一部事務組合） 地方公共団体については、東京都のうち23区を除く市町村（島嶼地区を含む）					事務職、医療職、特定消防、清掃等			

【実施率】		令和 5 年 11 月時点					
特定健康診査	被保険者	96.14	%	被扶養者	60.33	%	
特定保健指導	被保険者	52.26	%	被扶養者	33.16	%	

東京都町村職員共済組合		保健事業カルテ							
事業名		特定健康診査							
背景となる健康課題		<p>組合員数の増加に伴う医療費の増加。 令和4年10月の法改正により50代以降、前期高齢者世代の増加が顕著となった。 令和4年度疾病大分類別医療費として、呼吸器、循環器、内分泌・代謝、筋骨格系が上位5位を占める。 循環器、内分泌・代謝を含む生活習慣病に係る医療費は全体の9.2%、うち高血圧性疾患、脂質異常症、糖尿病の患者割合が高い。</p>							
事業目的・目標		<p>生活習慣病の予防・改善 医療費の適正化</p> <p>特定健康診査の事業目的・目標が明文化されています。 それを実現するための方法・体制の工夫が大切です。</p>							

事業の成果 (アウトカム評価指標)	評価指標の定義			実績値						
	項目	計算方法	用いるデータ	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
共通 アウトカム	生活習慣の改善意欲がある人の割合	意欲がある人数	改善意欲がある人数 (A)	法定報告値	11,783	12,173	12,111	12,160	12,894	22,175
		対象者数	特定健康診査を受けた人数 (B)	法定報告値	18,053	17,757	17,706	18,072	18,362	30,425
		意欲がある割合	改善意欲がある割合 (A/B)	法定報告値	65.3%	68.6%	68.4%	67.3%	70.2%	72.9%
独自 アウトカム	データヘルス計画で設定しているアウトカム評価指標 (1)	歯科保健	歯科検診受診者数		1,774	2,256	1,386	2,283	4,403	5,918
	データヘルス計画で設定しているアウトカム評価指標 (2)	事業目標である「生活習慣病の予防・改善」の達成度を測るアウトカム指標を設定すると良いです。								

事業の実施率・実施量 (アウトプット評価指標)	評価指標の定義			実績値						
	項目	計算方法	用いるデータ	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
共通 アウトプット	特定健康診査実施率	実施者数	被保険者及び被扶養者の特定健康診査実施者数 (A)	法定報告値	18,053	17,757	17,706	18,072	18,362	30,425
		対象者数	被保険者及び被扶養者の特定健康診査対象者数 (B)	法定報告値	20,638	20,449	20,496	20,708	20,583	34,149
		実施率	(A/B)	法定報告値	87.5%	86.8%	86.4%	87.3%	89.2%	89.1%
独自 アウトプット	データヘルス計画で設定しているアウトプット評価指標 (1)	アウトプット指標(実施率)を被保険者、被扶養者ごとに設定することも考えられます。								
	データヘルス計画で設定しているアウトプット評価指標 (2)									

評価指標の設定、実績値についてのコメント	<p>[健康課題の抽出と事業目標の明確化]</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業の目的・目標が明確になっています。 (健康課題に挙げられた前期高齢者世代の医療費については、第3期データヘルス計画によると女性の乳がんが高くなっています)
	<p>[評価指標、目標値の設定と実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> アウトカム指標については、中間評価・見直し、あるいは次期計画策定では事業目標である「生活習慣病の予防・改善」の達成度を測る指標を設定することで事業目標の達成度を把握でき、必要な改善を検討できます。(第3期データヘルス計画によると、運動習慣リスク、睡眠習慣リスクが共済組合平均よりも高くなっています) アウトプット指標(実施率)を被保険者、被扶養者ごとに設定すると、対象者ごとの現状が可視化され、具体的な解決策を検討しやすくなります。

実施年度	実施年度						様々なコラボヘルスの機会を創っています。				工夫			
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	対象者	事業の流れ	工夫の分類	工夫している点	工夫の理由、ねらい	良かった点	苦労した点・課題
成果を上げる工夫								対象者全員	周知・勧奨	a.意識付け	所属所との連携(コラボヘルス協定書の締結、毎年夏季期間の所属所への訪問、DH報告会での所属所別受診率・実施率の提示、広報(ホームページ・広報誌)による協力依頼を行っている。)	随所で特定健診や保健指導の協力依頼を行うことにより周知を図り、コラボヘルスを強化する。	所属所担当者及び組合員等の健康管理に対する意識の向上	コラボヘルス協定書未締結の所属所がある。

実施年度	実施年度						被扶養者の特性に応じた工夫(巡回健診)をしています。				工夫				
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	対象者	事業の流れ	工夫の分類	工夫している点	工夫の理由、ねらい	良かった点	苦労した点・課題	
実施率・率を上げる工夫								被扶養者	その他	d.環境整備 e.その他	被扶養者の受診率向上のため、巡回健診の活用及びインセンティブの付与を行っている。	巡回健診は、当組合の保有施設(ホテル日航立川東京)を被扶養者・任意継続組合員(女性)専用会場として年8回程度健診を実施する。当日に会場において施設利用券をインセンティブとして付与することで受診率向上に繋げる。また、当日は初回面談も可能しており、時間をあけず効率的に保健指導へ繋げる機会となる。	巡回健診は、当組合の保有施設(ホテル日航立川東京)を被扶養者・任意継続組合員(女性)専用会場として年8回程度健診を実施する。当日に会場において施設利用券をインセンティブとして付与することで受診率向上に繋げる。また、当日は初回面談も可能しており、時間をあけず効率的に保健指導へ繋げる機会となる。	巡回健診は、当組合の保有施設(ホテル日航立川東京)を被扶養者・任意継続組合員(女性)専用会場として年8回程度健診を実施する。当日に会場において施設利用券をインセンティブとして付与することで受診率向上に繋げる。また、当日は初回面談も可能しており、時間をあけず効率的に保健指導へ繋げる機会となる。	巡回健診は、当組合の保有施設(ホテル日航立川東京)を被扶養者・任意継続組合員(女性)専用会場として年8回程度健診を実施する。当日に会場において施設利用券をインセンティブとして付与することで受診率向上に繋げる。また、当日は初回面談も可能しており、時間をあけず効率的に保健指導へ繋げる機会となる。
								対象者全員	実施	d.環境整備	巡回健診、人間ドック、健診結果の収集は可能な限りデータで提供を受け、被扶養者のうちパート先等で健診を受けている方の健診結果は紙でも提供してもらえよう、毎年特定健診の案内の際返信用封筒を配布している。	令和2年度よりコラボヘルスに関する協定書を締結し、健診項目等を共同利用することでコラボヘルスを推進するとともに、効率的に医療機関から事業主検診の結果を提供してもらえるよう、毎年特定健診の案内の際返信用封筒を配布している。	令和2年度よりコラボヘルスに関する協定書を締結し、健診項目等を共同利用することでコラボヘルスを推進するとともに、効率的に医療機関から事業主検診の結果を提供してもらえるよう、毎年特定健診の案内の際返信用封筒を配布している。	令和2年度よりコラボヘルスに関する協定書を締結し、健診項目等を共同利用することでコラボヘルスを推進するとともに、効率的に医療機関から事業主検診の結果を提供してもらえるよう、毎年特定健診の案内の際返信用封筒を配布している。	巡回健診、人間ドック、健診結果の収集は可能な限りデータで提供を受け、被扶養者のうちパート先等で健診を受けている方の健診結果は紙でも提供してもらえよう、毎年特定健診の案内の際返信用封筒を配布している。
								被保険者	その他	c.プログラムの工夫	人間ドックの目的に応じた対象を設定することが大切です。	年度当初に事業主健診に関する調査を行う。	事業主健診時期の把握及び保健指導の早期実施	所属所ごとの健診、保健指導に係るスケジュールが立てやすくなったこと	所属所間で実施希望日が重複した場合の委託業者との日程調整等
								対象者全員	実施	d.環境整備	人間ドック助成	毎年、新規契約希望の医療機関を含め、契約の見直しにより契約医療機関の充実を図っている。疾病の早期発見早期治療のため、年齢制限を設けず、幅広い年代で受診可能。	巡回健診、人間ドック、健診結果の収集は可能な限りデータで提供を受け、被扶養者のうちパート先等で健診を受けている方の健診結果は紙でも提供してもらえよう、毎年特定健診の案内の際返信用封筒を配布している。	巡回健診、人間ドック、健診結果の収集は可能な限りデータで提供を受け、被扶養者のうちパート先等で健診を受けている方の健診結果は紙でも提供してもらえよう、毎年特定健診の案内の際返信用封筒を配布している。	巡回健診、人間ドック、健診結果の収集は可能な限りデータで提供を受け、被扶養者のうちパート先等で健診を受けている方の健診結果は紙でも提供してもらえよう、毎年特定健診の案内の際返信用封筒を配布している。

工夫についてのコメント	<p>当共済組合の特長は事業主とコラボヘルスを進める基盤が構築されていることです。毎年、夏季に行っている共済職員及び組合会議員による所属所への訪問や、データヘルス報告会での所属所別の受診率等の可視化などを通じて、現状や問題意識が共有されていることがうかがえます。コラボヘルスに関する協定書についても、以前から定期的に行っている説明会を利用してその目的や内容を伝えたことで、70事業所中69が締結に至っています。一方、全年齢が対象で補助率が高い人間ドック助成に関しては、目的を明確にし、対象と評価指標を設定することが重要です。</p>
	<p>[アウトカムを上げる知見]</p> <ul style="list-style-type: none"> 健診の実施を通して生活習慣病の予防・改善を進めるには、健診当日や健診後のフォローが大事になりますが、当共済組合ではコラボヘルスに関する協定書の締結により、健診項目等の共同利用を可能にし、健診受診後に保健指導に該当しない者も含めて通知して意識啓発をしている点は注目に値します。この取組の質向上の検討が有用だと思われます。 <p>[アウトプットを上げる知見]</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度当初に事業主健診時期を把握することは委託事業者との円滑な調整や保健指導の早期実施にもつながる点で素晴らしい工夫です。 コラボヘルスに関する協定書の締結により、医療機関からの事業主健診結果の提供を進めています。